

年女96歳

1927年(昭和2年)生まれ



半田 菊枝さん (水立大黒・23区)

何でも食べて元気で健康に

昨年長年やってきたグラウンド・ゴルフの大会で優勝して引退しました。今は脳トレに部首別の漢字を書いています。今年はコロナの収束、災害の減少を願いながら、大好きなお肉を食べて、自分のことは自分で一年にしたいですね。長生きの秘けつはお肉を食べることです。

年男84歳

1939年(昭和14年)生まれ



安富 耕二さん (新中野・33区)

仲間と趣味を楽しみたい

70歳から始めたグラウンド・ゴルフと水墨画が趣味。グラウンド・ゴルフは仲間と楽しく話しながらプレーをして、ちょうどいい運動になっています。水墨画は先生の作品に近づけるように練習中。これからも、趣味の仲間と楽しんでいくために、健康維持に気を付けていきたいです。

年女92歳

1951年(昭和26年)生まれ



上野 藤枝さん (雑下・13区)

これからも友だちと楽しく

陶芸が趣味で長年続けています。今までは仕事をしていて、なかなか教室に通っていませんでしたが、少しずつでも続けてきてよかったと思っています。陶芸は世界に一つだけの自分好みに作品を作れるところが魅力。これからも自分の納得のいく作品を作り続けていきたいです。

年男60歳

1963年(昭和38年)生まれ



新井 伸行さん (坪谷・22区)

感謝の気持ちを忘れず

大工の仕事を始めて44年。仕事が好きだから、何事も妥協せずに突き詰めて仕事をしてきました。ここまで続けてこれたのは間違いなく、周りの支えがあったからです。これからも感謝の気持ちと謙虚さを忘れず、体力の続く限り仕事を続けていきたいです。生涯現役、一生勉強！



年女48歳

1975年(昭和50年)生まれ



森戸 美幸さん (西ノ根宮内中島・24区)

新たなチャレンジの年

今までは育児と仕事を両立してきて、あつという間に4度目の年女を迎えることに驚きを感じています。人生を振り返ってみると、これといった趣味がなかったので、今年はこれから先も続けていける趣味を探そうと思います。新しいことに挑戦するって楽しいですよ。

年男36歳

1987年(昭和62年)生まれ



廣田 純一さん (石打・20区)

利用者の笑顔のため

元々おばあちゃん子だったこともあり、介護の仕事に就いて11年目。仕事は大変なこともあります。それ以上に利用者の笑顔や感謝の言葉がやりがいにつながっています。今年は一層利用者楽しく過ごしてもらい、ここに入居して良かったと思ってもらえる仕事をします。

年女24歳

1999年(平成11年)生まれ



柳澤 紅音さん (馬場大林・25区)

子育てと仕事の両立

昨年、子どもが生まれて育児がスタート。ニコッと笑う笑顔にいつも癒やされています。最近子どもが「ママ」って言えるようになってきて本当にうれしい。子どもの成長を楽しめて、幸せな毎日を送っています。今年も育休が明けて仕事に復帰するので、育児と仕事を両立するぞ。

年男12歳

2011年(平成23年)生まれ



田野 隼大さん (明野・34区)

優勝して次のステージへ

今のチームでの大会も残すところあと2つ。今まで優勝を経験することがなく、県大会で負けた相手が優勝するという悔しい結果になっています。だから、次の大会は最高の仲間たちと協力し、投打で活躍して必ず優勝します。野球はもちろん、中学校に行ったら勉強も頑張ります！

町長 金子 正一
今後「やさしさ」と活気の調和した夢あふれるまち「おうら」の実現を目指し、全身全霊で町政運営に当たってまいります。本年も皆さまにとって、幸多く実りある年となりますよう心からお祈り申し上げます。

年頭の「あこがし」

あけましておめでとう、ごいいます。健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、一昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症への対応に注力した1年となりました。最前線でご尽力いただいている医療従事者の皆さま、長期間に渡り感染拡大防止にご協力いただいた町民の皆さまに深く感謝申し上げます。昨年町では、JA農産物直売所の「えんマルシェ」と交通の結節点となる「おうらバスターミナル」が完成しました。その周辺で宅地や商業地の開発が進むことで、町の発展が望めると思います。また、円安やコロナ禍における物価高騰の経済対策として、今年も国の給付金の対象にならない住民税均等割のみ課税世帯や、進学や就職などの人生の転換期を迎える世代への給付金の支給を行ってまいります。

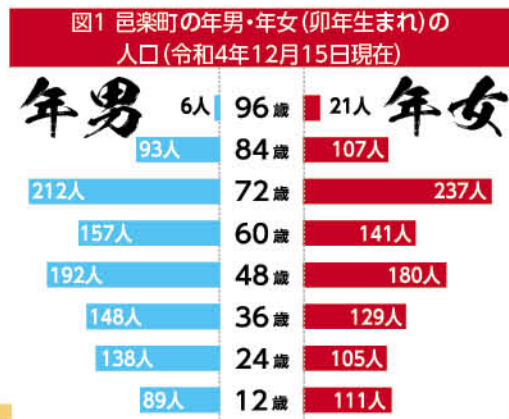


図1 邑楽町の年男・年女(卯年生まれ)の人口(令和4年12月15日現在)

【Monthly PickUp】

あつまれ！卯年の年男・年女

2023年は「卯年」。そして生まれた年と同じ十二支を迎える人を年男・年女と呼び、とても縁起が良いといわれます。新年を迎え、気持ちも新たな町内の年男・年女の人たちに今年の抱負を聞きました。